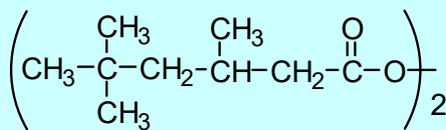


パーロイル[®]355 (PEROYL[®]355)
 ~ Di(3,5,5-trimethylhexanoyl) peroxide ~



分子式：C₁₈H₃₄O₄ 分子量：314.47 理論活性酸素量：5.09%

特 徴 パーロイル[®]355は、脂肪族系ジアシルパーオキシドであり、ベンゾイルパーオキシドよりも低温活性で水素引抜き能が低くなる特徴があります。塩化ビニル、アクリル系モノマー、MMAなどの各種ビニルモノマーの重合開始剤として有用です。また60～100℃でのFW、引抜成形用不飽和ポリエステル樹脂硬化剤としても有用です。

品 質	パーロイル [®] 355-75 (S)
純度	75%
希釈剤	炭化水素
外観	透明液体

保 管 温 度	保管温度	-5℃～-10℃
----------------	------	----------

包 装 形 態	包装形態	10kg (10kg×1)
----------------	------	---------------

一 般 的 性 状	比重	0.894 (0℃)
------------------	----	------------

半 減 期 及 び 活 性 化 エ ネ ル ギ ー	1 分 間 半 減 期 温 度	1 時 間 半 減 期 温 度	10 時 間 半 減 期 温 度	活 性 化 エ ネ ル ギ ー	頻 度 因 子
	112.6℃	76.8℃	59.4℃	128.2kJ/mol	9.43×10 ¹⁸ hr ⁻¹

(ベンゼン中における熱分解：過酸化物濃度：0.10mol/L)

安 全 性	圧力容器試験 (消防式)	1mm オリフィス	10/10
		9mm オリフィス	0/10
	熱分析(DSC)	発熱開始温度	96℃
		発熱量	724J/g
	引火点(セタ密閉式)	71℃	
	発火点(ASTM E659)	457℃	
SADT	35℃		

適 用 法 令	消 防 法	第5類 第二種自己反応性物質
	労働安全衛生法	危険物・爆発性の物
		その他の有機過酸化物 通知対象物を含有せず
	P R T R 法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず
	船 舶 安 全 法	酸化性物質類・有機過酸化物
	航 空 法	輸送禁止

そ の 他 の 分 類	国連分類	クラス5.2 国連番号 3115
	CAS-No.	3851-87-4
	官報公示整理番号	(2)-629 (化審法、安衛法)
	TSCA	登録有り
	EINECS	223-356-0

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、peroxide@nof.co.jp までお願いします。